

(件名)

## 静岡県総合防災アプリ『静岡県防災』の普及

(危機情報課)

## 1 要 旨

平成30年7月豪雨災害では、災害関連の緊急情報が住民避難に繋がらず、逃げ遅れにより多くの方が犠牲となった。これらの教訓を踏まえ、緊急防災情報の伝達手段の多様化、地域の災害リスクの理解促進、非常時の適切な避難行動の支援を目的に、静岡県総合防災アプリ『静岡県防災』を開発し、6月1日から運用を開始した。

(参考：7月1日までダウンロード数 38,098件 )

## 2 機能と概要

非常時(災害時)・平常時ともに利用者をサポートする6つの機能

機 能	概 要	緊急防災情報の伝達	地域の危険性理解を促進
(1) 緊急防災情報の通知	気象警報や避難指示・勧告等などの防災に関する緊急情報を発表と同時に自動で通知	○	
(2) マップ表示	地図上で各種災害のハザードマップや、災害ごとの避難先を確認	○	○
(3) 現在位置の危険度確認	現在地での気象情報等の発令状況、洪水や土砂災害などのハザードを確認	○	○
(4) 危険度体験	AR(拡張現実)により、その場所でのハザードマップを反映した、洪水、津波による想定浸水高を表示、浸水リスクを確認		○
(5) 避難トレーニング	現在地から避難先までの経路や時間を記録、事後に再生することで安全な避難方法を検証		○
(6) 防災学習とテスト	防災に関する基礎知識を学び、テストにより知識の習得を確認	※理解促進	○

## 3 普及促進

多様な手法によりアプリの認知度を高め、機能(活用方法)とダウンロード方法を紹介

リーフレット等による全戸周知(QRコードの周知)	リーフレット及び自主防災新聞(8月号アプリ特集)等を使って県内全戸(約140万戸)へ周知
様々な機会を利用した周知	【実績】アプリを利用した津波避難訓練(湖西市6/13 TV3社、新聞4社) 【予定】総合防災訓練(8月)・地震防災強化月間(11月)・地域防災訓練(12月)・津波旬間(3月)など、防災意識の高揚を目的とした県民参加による防災イベント等において、実際にアプリを活用
関係機関でのリーフレット・ポスターによる周知	県・市町村庁舎、防災関係機関、教育関係機関、福祉関係機関、建設関係機関、また、民間企業(包括連携協定先)などにおいてリーフレットの配架及びポスターの掲示

## 4 今後の展開

利用者の意見等を踏まえ、内容を充実させ、使いやすいアプリにしていく。また、アプリの多言語化の検討を進める。